

— 新富士病院グループ —

医療法人社団三医会

鶴川リハビリテーション病院

TSURUKAWA REHABILITATION HOSPITAL

INDEX

- | | | |
|------------|------------|---------|
| ■ 院長プロフィール | ■ ロゴマークの意味 | ■ スタッフ |
| ■ メッセージ | ■ 病院紹介 | ■ 求める人材 |
| ■ 理念 | ■ 主な受け入れ症例 | ■ 勤務地 |



医療法人社団三医会

安心して生活できる環境を、
整えられる病院であり続けたい

略歴

S63 聖マリアンナ医科大学医学部附属病院 入局
H18 川崎市立多摩病院 入職
H26 鶴川記念病院 入職
H27 鶴川リハビリテーション病院 病院長就任

資格

内科認定医

鶴川リハビリテーション病院院長 **新井 基央**

安心して生活できる環境を、整えられる病院であり続けたい

大学病院を中心に急性期医療を学び、自身の専門領域を見極めていくというのが医師に多いキャリアパスの形です。看護師など他の職種においても、次のステージとしてより多くの分野に専門性を広げていきたいと考えている方には、当院のような慢性期医療（療養病棟+回復期リハビリ病棟）に特化した病院が合うのではないのでしょうか。一人の患者様に向き合っていると、専門領域だけでは足りません。私の場合、専門は呼吸器疾患ですが、患者様には脳も皮膚も他の臓器もある。すべての領域の専門医になるのは難しいですが、当院ではさまざまな領域に特化した医師もいるので、幅広いスキルアップが可能です。

当院の主な役割は、急性期医療を終えた患者様の対応です。しかし中には、手術を終えた後も疾患の症状に悩まされる患者様が多くいらっしゃいます。今後は術後のフォローアップや継続治療ができるように、体制を整えていきます。当たり前のことではありますが、やはり患者様の病気をしっかりと治し、「今、この瞬間」のつらさにすぐ対応すること。そして、安心して生活できる環境を整えられるような病院であり続けたいです。



鶴川リハビリテーション病院 基本理念

限りある人生、今日という日は二度となく、一日一日が新しい日です。
今日、この日を自分のために、家族のために生きる。
医療から皆さんを支えていきます。

緑豊かな多摩丘陵の一端に位置する鶴川リハビリテーション病院は、高齢者医療・リハビリテーション・在宅医療を中心に、地域密着型の充実した医療サービスを提供します。入院中は、患者さんが快適にすごせるよう、スタッフが親身になってリハビリやケアを実践するだけでなく、こだわり食材を使った手作りのおいしい食事、清潔な環境づくりを常に心がけています。鶴川リハビリテーション病院は、在宅療養支援病院である「鶴川記念病院」、訪問看護ステーション「鶴川ひまわり」、「長沢ひまわり」デイサービス施設「デイサービス三輪」を持つ「医療法人社団三医会」の一員です。そのため退院後も、自宅で安心して「いつもの暮らし」をおくることができるようサポートが可能です。鶴川リハビリテーション病院は、入院中から退院後までのトータルケアで患者さんとその家族の回復への希望を支えていきます。

ロゴマークの意味



旧ロゴマークのひまわりのモチーフは引き継ぎ、明るさ、親しみやすさは保ちつつ、洗練された形が病院としての安心感・信頼感を付加している。

病院紹介



昭和50年より地域に密着した医療を行う医療法人社団三医会の2番目の病院として当院は平成27年に開院いたしました。開院当初よりリハビリテーションと慢性期医療に焦点を絞り、在宅療養支援病院として患者様の在宅復帰に向けて邁進しております。令和元年を迎え、当院へ来院頂く患者様、ご家族様からのリハビリテーションへの期待や在宅復帰への責務にお応えすべく、回復期リハビリテーション病棟を開棟致しました。多摩丘陵の緑豊かな環境の中、当院のスタッフが患者様、ご家族様に寄り添い、患者様一人ひとりの病状に寄り添った医療と実践的なリハビリテーションを提供してまいります。

標榜科目

内科・リハビリテーション科

許可病床数

120床（医療療養病床60床・回復期リハビリテーション病床60床）

外来

睡眠時無呼吸症候群外来

病棟

2階(60床)、3階(60床)

訪問診療

在宅療養支援病院である「鶴川記念病院」との連携で、患者さんのご自宅で定期的に診療、病状管理を行います

リハビリテーション

入院治療中の過度な安静による機能低下を防ぐため、入院早期からリハビリを行います。

設備

CT・XTV・一般撮影・エコー・心電図・眼底カメラ・人工呼吸器・血液ガス分析装置・電子カルテ（富士通）

主な受け入れ症例

内科

- ①消化器一般、また胃瘻増設も可。
 - ②脳血管疾患、パーキンソン病などの脳変性疾患、多発硬化症などの脱髄疾患。
 - ③心不全、肺炎など循環器、呼吸疾患。特に人工呼吸器を用いた呼吸管理。
- 上記の中でも脳神経疾患及び廃用症候群に対する回復期リハビリテーションも可。

整形外科

頸髄損傷、四肢、脊椎など、骨折急性期治療後の回復期リハビリテーション。

皮膚科

褥瘡を含めた皮膚疾患全般。

泌尿器科

泌尿器疾患一般



スタッフ



スタッフの人数

合計 約204人



※男女比は男性：女性＝2：8

医師17、看護師・訪問看護師48人、介護職36人、薬剤師6人、臨床検査技師2人、診療放射線技師1人、理学療法士17人、作業療法士14人、言語聴覚士6人、リハビリ助手2人、管理栄養士2人、調理師・調理補助7人、保育士9人、MSW4人、総合職3人、その他18人



■ 看護師 R.S 2023年入職

回復期リハ部門での高い在宅復帰率を維持しており、自身のやりがい、キャリアと専門性の向上が得られると思い入職を決めました。忙しい中でも、職員間の声掛けや助け合いができ、今までにないぐらい働きやすい職場と感じています。教育担当の方はじめ、皆さん気にかけて下さりサポート体制が充実しており、相談しやすいため、安心して仕事ができることに感謝しています。また、職員皆丁寧な接遇をされており、学ぶことが多いと共にもしも自身の家族が入院しても、安心な環境であると感じています。



■ 言語聴覚士 A.M 2023年入職

前職では、長時間労働、サービス残業が常態化しており、ワークライフバランスが保てなかった。休日の管理ができれば、好きなだけ勉強ができ、自分の得たい知識を高めていけると思い転職。また、これまで所属したことのない療養病棟でのリハビリテーションも魅力でした。入職後は上司や同僚からのサポート体制が充実し、安心して仕事に取り組めるようになりました。認定資格取得や、学会活動に積極的に参加しながら新しい分野に挑戦し、多岐にわたる医療知識や技術を習得したいと考えています。

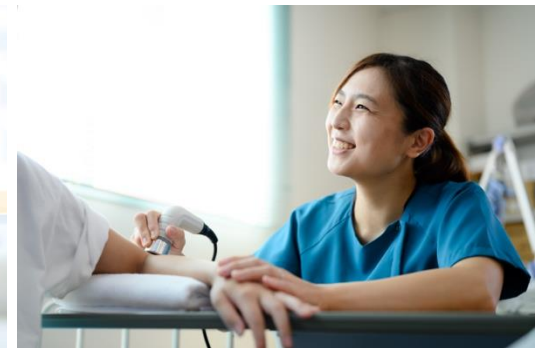


■ 事務職（総務課） M.H 2019年入職

子供の頃、寝たきりだった祖母が療養病院に入る事になり、入院先が隣接している鶴川記念病院でした。転職活動の際に当院を紹介され、ご縁だと思い入職。現在は人事、技能実習生の生活指導のほか広報資料作成を任されており、地域の方々から選んで頂けるよう積極的に広報活動を実施したいと考えてます。季節性のワクチン接種なども家族が接種できるようなご配慮もあり助かっています。

こんな方歓迎します

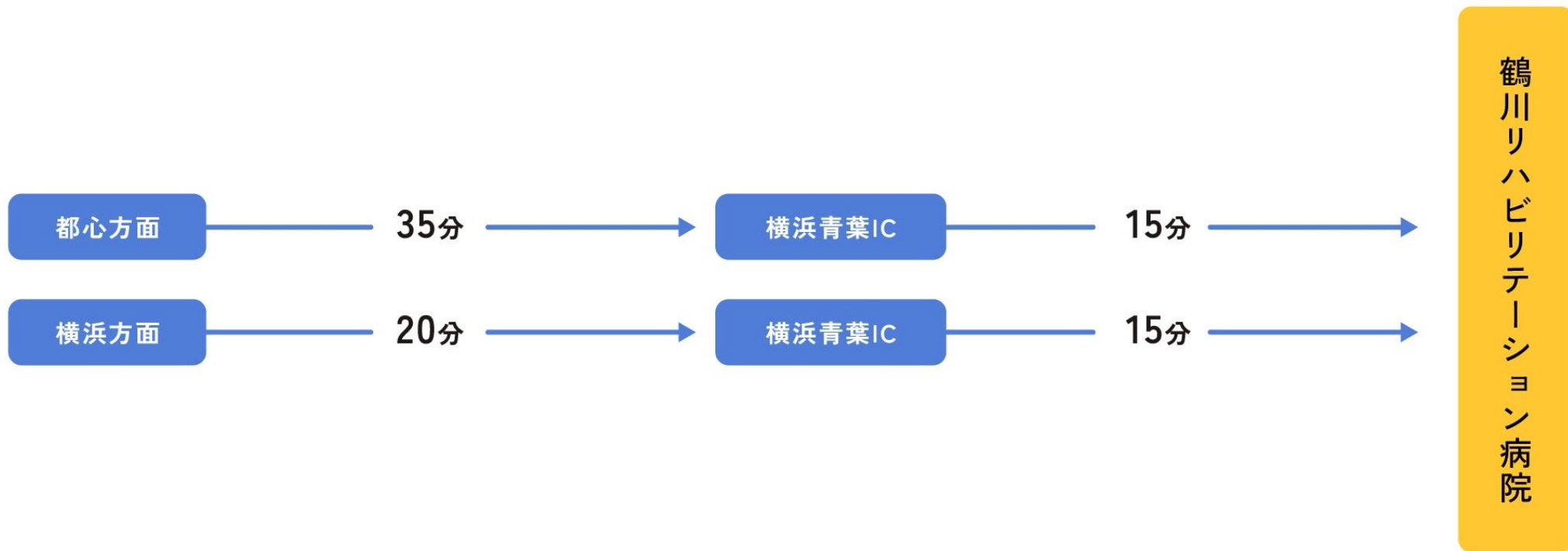
- 患者さまとご家族に寄り添い、支えたい方
- 協調性を持って、チームで連携しながら仕事をしたい方
- 地域医療・地域包括ケアに興味がある方
- 思いやり・思いやりを大切にできる方
- 高齢者医療や慢性期医療に興味のある方
- 研究会などで知識を高めていきたい方



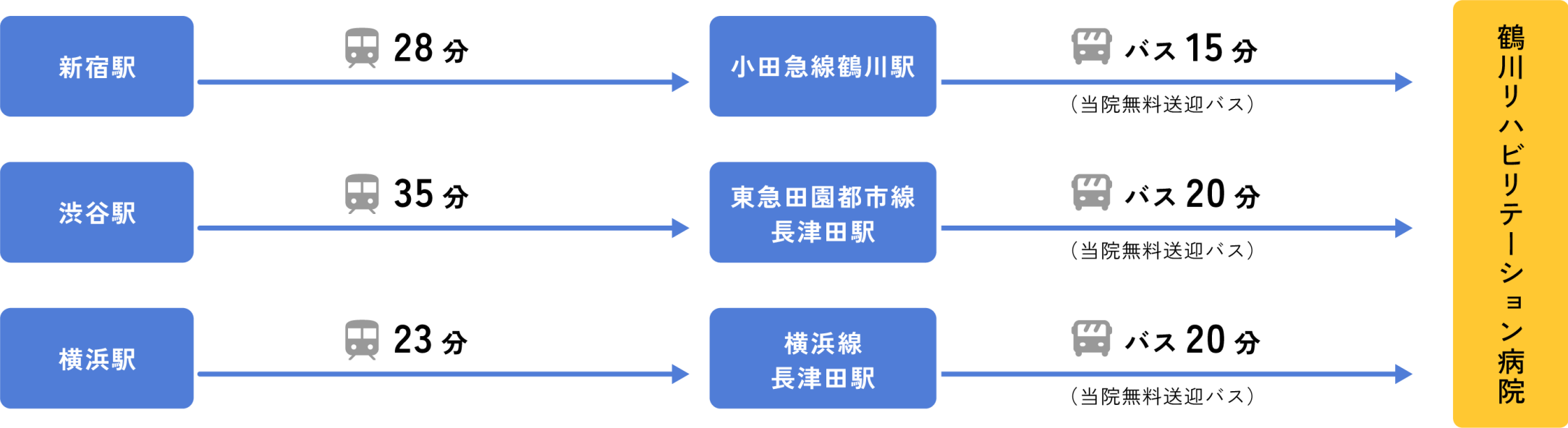
住所

東京都町田市三輪町1129

車でのアクセス



公共交通機関でのアクセス





医療法人社団 三医会 鶴川リハビリテーション病院